

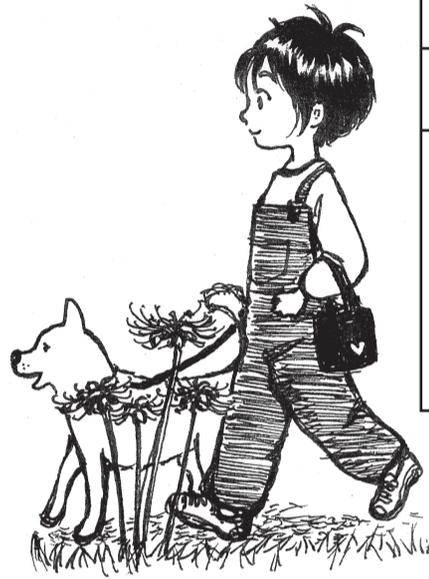


第404号

発行  
浄土真宗  
心光寺  
奥原曇龍  
倉敷市早高426  
☎(086)420-1311



# 花を咲かそう



カット：本多紘子

9月になってもまだ夏の名残の日差しが強いこのごろです。皆様方いかがお過ごしでしょうか。体調を崩されていませんか。

今年7月の気温は気候の観測が始まって以来の世界的猛暑であったと発表されました。気温が上がると、北極や南極の氷山が溶けて海水面が高くなり、あちらこちらの陸地や島が消滅したり、大津波が押し寄せると低地の島は建物も人命も根こそぎ奪われます。地球温暖化が叫ばれて久しいが、人間の便利さと利益追求のために、地球の環境がどんどん悪くなっているのは悲しいですね。

世界の森林が山火事で焼失しています。スペイン・イタリア・カナダ・アメリカと森林の大火災が発生し、8月10日にはハワイのマウイ島でも山火事がおこりました。マウイ島のラハイナの街は、ハワイ王国時代に首都ともなり、歴史的建造物が多く焼失し、死者も111人と大惨事です。森林地帯が消失すると大地が砂漠化し、森林の栄養素が海に行かず魚たちも減少してしまいます。地球の生態系が大きく狂い始めたのは、16世紀のヨーロッパ産業革命が原因だと言われ、人間の便利さを追求する科学信仰や経済競争を見直したいものです。燃えるような暑さの中で、第105回全国高校野球選手権大会が催

\*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

されていましたが、8月23日に甲子園球場で決勝戦が行われ、神奈川県代表の慶應高校が昨夏優勝した宮城県代表の仙台育英高校を8-2で破り、107年ぶり2度目の優勝を果たしました。岡山山陽高校も準々決勝で鹿児島県の神村学園と対戦し、敗れましたが堂々と戦い見事でした。熱中症対策をしながら猛暑の夏を元気に頑張る若者達に、明るい未来を提供していかねければと責任を感じる愚僧です。

今現在、世界中で貧富の格差が大きくなっています。わずかな世界の大富豪達が富を独占し、世界の多くの人たちが貧困で食べ物や病気に苦しんでいます。日本も経済大国から普通の国になり、貧富の格差が進み、毎年2万人超が自殺し亡くなっています。

日本社会が、「死にたい」「消えたい」と思わせるような社会構造になりつつあるのです。新型コロナ下で失業したことで生活苦に陥り、借金を抱え、精神的に追い込まれて自殺に至る。働く人なら配置転換などの職場環境の変化で過労に陥り、人間関係の悪化も重なり、鬱になり自殺に至るといったものです。女性の自殺者率が高いのは、日本の社会的な男女格差が大きい事も影響しています。子供の自殺が増えているのも、孤立して「生きる場所がない」ということかな。

『大無量寿経』に「人間ほど浅はかなものはない。いずれも急がなくてもよいことを急ぎ、争わなくてもよいことを争っている。中略。華やかさのかけに、この世は苦しみと悲しみに満ちている。その中で人間は生きて行かねばならぬ」とありますが、私たちは何を期待し、どういう楽しみを願っているのだろうか。

ロシアによるウクライナ侵攻によって、世界中の小麦価格や石油価格が高騰しています。私たちの日々の生活も物価高が押し寄せ、電気代やガス代が高騰し生活が苦しくなっています。そんな中で福島第一原発の事故による処理水を、8月24日に海に放出しました。水産関係者にとっても、影響は測り知れません。未来を生きる子供たちの為にも、私たちの行動を真剣に考えたいですね。合掌(奥原 曇龍)

『人生に何を期待し何願う 自分の花をゆっくり咲かそう』 どんりゅう

日時・九月十五日「金曜日」 午前十時から十二時まで。

「歎異抄(たんにしょう)に学ぶ」

場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方

[心光寺](#) [倉敷](#) [検索](#)



カット：奥原 綾

## ともしび説法



# お釈迦様ものがたり

先月号で、比丘尼(女性) 教団の中で有名なバスターチャラーのことを取り上げましたが、途中までだったので今回も続けます。

彼女は豪商の家に生まれるが、身分の低い下僕を愛し、家を逃げるようにして愛の巢を営みました。貧しいながら二人の子が授かりますが、雨漏りのする粗末な家に住んでいました。ある時暴風雨があつて、夫は雨の漏らない家を建てたいと森に入り、材木を切り出していたが、毒蛇に噛まれて死にます。

暴風雨の夜を二人の子供を濡れないように過ごし、明け方に夫を捜しに出ると倒れ死んでいました。夫の死を嘆き悲しむ間もなく、雨水が小川を満たし家も浸水し始めます。家から避難させようとしたが、小さな弟は大きな鷹にさらわれ、兄の方も小高い丘から水中に落ち流されました。

悲嘆にくれた彼女は、舎衛城の父母の家に向かいます。しかし、昨夜の暴風雨で彼女の父母も兄弟も、倒れた家の下敷きになって死んだことがわかります。彼女は気も転倒して狂い、着物が身体から落ちたのも知らなかった。舎衛城の街を裸で狂い歩く彼女に対し、人々はゴミや小石を投げつけたのです。

彼女が祇園精舎の方にやって来ると、比丘(僧侶)たちは、これを阻止しようとしてますが、お釈迦様はこれを制して、彼女に、「正氣に戻れ」と言われると、彼女は正氣を快復し、裸の身を恥じた。

仏は衣を与え、彼女の悲しみ狂った事情を聞かれ、彼女に、世の中のすべては無常であり、悲泣の涙は大海の水にも匹敵するものであると諭されます。さらに無常の世の中では子供も父母も親類も頼りにならず、不安定の涅槃を求むべき事を述べられると、彼女は第一段の聖果を得て出家を願います。彼女は比丘尼中での持律第一とせられ、多くの弟子を教導しました。合掌(奥原曇龍)

彼岸花涼しさ待つてゆつくりと 真つ赤に花咲くともしびの寺 田辺多恵子



8月13日 心光寺本堂にて お盆合同法要

## ともしび法話

9月は秋のお彼岸月。今年の夏は異常な暑さで驚きました。お盆参りも無事に終わりホッとしています。皆様お元気ですか。秋のお彼岸も、9月23日(土) 秋分の日にお寺で合同法要をいたします。皆様方も気楽に御参加下さい。合掌

心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

曇龍先生、今年のお盆は大変でしたね。まだまだ暑いので体調には気をつけて。お盆には心光寺にてお経あげ

先祖を偲び悔いなく生きる 倉敷市茶屋町 井川 啓子

今年の夏の暑さは異常で、秋もまだまだ暑く、大雨災害に気をつけたいですね。

「秋彼岸寺に参れば顔なじみ

ともに念仏先祖を偲ぶ」 倉敷市真備町 松下 勇一

人生は無常であり、儂いものであることを身に沁みて知らされますね。樹木希林さんの「死ぬことは、みんなの心に生きる」という言葉が、心の支えに。合掌

倉敷市中庄 山下須磨子

## ともしび説法

日時・九月十五日「金曜日」 午前十時から十二時まで。 「歎異抄(たんにしよう)に学ぶ」

場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて 電話・(086)420-1311 駐車場有り

○ともしび説法・お寺の行事予定

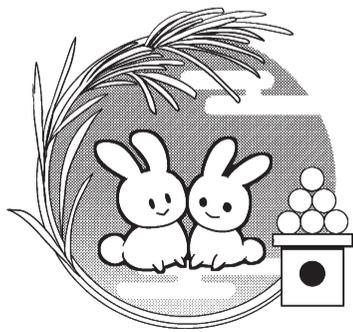
- 十月 二十日(金)・午後一時半から四時まで・早高の本堂。
- 十一月 三日(金)・午後一時から四時頃まで・早高の本堂。
- 十一月三日は秋の報恩講法要・法要儀式・仏教講演

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



## いづるの詩

秋のお彼岸は何故か心がゆらぐはかない人生に涙を流し人と人との出逢いと別れに不思議を感じる 平々凡々な生き方の人にも本当に辛くて苦しい時もある 悲しみが人の心を育てるよ



カット:吉岡美枝

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんに紹介してもらおうより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426 浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺 TEL(086)420-1311 FAX 420-1322 携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「404号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅西口に9時30分にお寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は、心光寺までご連絡下さい。合掌 心光寺 総代長 本家豊彦